

令和5年度 技術・家庭科（家庭分野）《第2学年》年間指導計画

担当（高屋美登里）

技術・家庭科 家庭分野 教科の目標

実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

家庭分野 2学年の目標

生活に必要な布を用いた物の製作を通して基礎・基本の縫い方を身に着ける。

中学生に必要な栄養の取り方や献立の作成、食生活の自立に向けた基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに食生活を主体的に営む能力と態度を育てる。

※【知】は「知識・技能」

【思】は「思考・判断・表現」

【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準	評価資料
4	衣生活 ・目的に応じた衣服の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服で伝わるメッセージ ・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化 ・上手な衣服の選択 	【知】 ・衣服の役割を知り、衣服に関する知識を得ることができる。	ノート・ワーク・プリント 定期考査
			【思】 ・衣服に関心を持ち、衣生活を考える。	ノート・ワーク・プリント 定期考査
～			【態】 ・衣服の役割を知り、衣服に関心をもって主体的に取り組もうとしている。	ノート・ワーク・プリント
7	<ul style="list-style-type: none"> ・日常着の手入れと保管 ・生活を豊かにするものの製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・まかせて衣服の手入れ ・繊維に応じた手入れ ・洗濯・補修 ・布を用いた作品製作 ・製作の基礎・基本 	【知】 ・衣服の着用、手入れ方法を知る。	ノート・ワーク・プリント 定期考査
			【思】 ・衣服の着用、手入れ等関心をもって取り組める。	ノート・ワーク・プリント
9	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作 ・持続可能な衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた作品製作 ・布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、衣生活を豊かにするために実践 ・ミシンの操作 ・しつけ縫いをするなど手順に沿って作業を行う。 ・持続可能な衣生活をめざして 	【態】 ・安全で効率よく作品の製作しようとしている。 ・製作手順を理解し、丁寧な作業をしようとしている。 ・製作方法、注意点等理解をしようとしている。	ノート・ワーク・プリント
			【知】 ・製作手順を理解し、丁寧な作業ができる。 ・製作方法、注意点等理解をする。	定期考査
11	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作 ・持続可能な衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、衣生活を豊かにするために実践 ・ミシンの操作 ・しつけ縫いをするなど手順に沿って作業を行う。 ・持続可能な衣生活をめざして 	【思】 ・安全で効率よく作品の製作することができる。 ・製作手順を理解し、丁寧な作業ができる。 ・製作方法、注意点等理解をする。	ノート・ワーク・プリント 作品
			【態】 ・作品製作に関心を持って取り組み、実践しようとしている。	定期考査 作品
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と消費 ・購入・支払いと生活慈雨法 ・消費者被害と消費者の自立 ・持続可能な社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の仕組み ・収入と支出 ・販売方法・購入方法 ・支払い方法 ・消費者被害 ・消費者の権利と責任 ・消費行動が社会に与える影響 ・消費行動が環境に与える影響 	【知】 ・身近な消費生活に関心を持ち、消費者としての行動をよりよくするためにできることを実践しようとしている。 ・商品の購入・販売方法・支払方法を理解する。 ・環境に配慮した消費生活に関心を持ち、自らできることを考えることができる。	定期考査 ノート・ワーク・プリント
			【思】 ・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	定期考査 ノート・ワーク・プリント
			【態】 ・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ノート・ワーク・プリント